ぜんさいしょう

No.141
2026.3.10

明るく伸び伸び

たくましく育つ。
遊びの中で、
たくさんの『楽しい』『同じ』を
友達と共有しながら、
学び合っています。

春、背中を押す風の中で

松尾　創
全埼玉私立幼稚園連合会 会長

春の光がゆっくりと園庭に降りてきて、子どもたちの声がまるで映画のオープニングのように広がっていきます。

一年間、皆さんが積み重ねてきた日々は、誰にも見えないところで静かに、しかし確実に子どもたちの未来を形づくってきました。泣き声に寄り添った朝。笑い声に包まれた昼。小さな背中をそっと押した夕方。そのすべてが、一本の映画のように胸に残っています。

卒園児は、皆さんから受け取った“勇気”という名の灯(あか)りを胸に、新しい世界へ歩き出します。進級する子どもたちは、期待と不安を抱えながらも、次のシーンへ進む準備を整えています。そのどちらのスクリーンにも、皆さんの「情熱」が映り込んでいます。

そして、まもなく新学期。

新しい名前、新しい靴、新しい涙、新しい笑顔。まるで幕が上がる瞬間のように、子どもたちの「はじまり」が一斉に押し寄せます。

その中心に立つのは、ふたたび皆さんです。あなたの声が、あなたのまなざしが、子どもたちの一年のストーリーを動かす「最初のカット」になります。

だからこそ、今、胸を張ってください。

ここまでの一年は、「先生方が主演し、子どもたちと共演した」、かけがえのない物語でした。春の風は、がんばった人の背中を必ず押してくれます。

皆さんの存在が、子どもたちの未来を照らす光です。心からの敬意と感謝を込めて。

全埼私幼
公益社団法人 全埼玉私立幼稚園連合会
〒330-0063 さいたま市浦和区高砂4-13-21 私学会館新館
TEL 048(866)5000 FAX 048(866)7551
発行人　松尾　創
http://www.youchien.ed.jp

新規採用教員研修第10回・閉講式

令和８年１月17日(土)、埼玉会館にて新規採用教員研修第10回・閉講式が行われました。

東京成徳短期大学の大澤洋美先生から「幼児理解と保育の展開」、安見克夫先生から「子どもの成長と教師の喜び」と題して講義をいただき、しめくくりにふさわしい研修となりました。

最後の閉講式では、「はばたけ小さないのち」の斉唱の後、埼玉県総務部学事課副課長 藤原海人様の御挨拶をいただき、東西南北の各ブロック代表者が感想発表を行いました。園で感じた「先生」としての喜び、研修で同じ悩みを持つ仲間と出会えたことや研修運営委員への感謝など、いずれも受講者の思いを伝えたものでした。

全10回の研修を終えた315名の参加者からは、この一年で得た自信と誇り、次の一年への新たな決意が感じられました。次は三年次研修で仲間と再会することを目標に、それぞれの場所で頑張っていきましょう！

こども誰でも通園制度について

今年度２回目の新制度委員会主催の研修会は、令和８年１月21日(水)に「こども誰でも通園制度について」を表題に実施されました。

令和８年度から各市町村で実施されるこども誰でも通園制度の研修に74名の参加者がありました。研修では、さいたま市子ども未来局子育て未来部幼児政策課誰でも通園係長 松田久喜子様より、さいたま市によるこの制度の意義や基本的な考え方及び実施状況について説明をいただきました。続いて、やごうこども園 前島安曇副園長から、行田市とこの制度導入に伴う工夫や園の状況、今後の課題について具体的な報告がありました。また、当連合会 若山副会長からは、この制度への期待や懸念、今後の方向性について示唆があり、参加者にとって大変参考になる内容でした。今後の対応や制度を再確認する有意義な研修となりました。

保育実践研究協議会

東西南北４ブロックに分かれて、合計636名の経験年数２年以上の教職員が参加し、保育実践研究協議会が行われました。

各ブロックの内容はこちらから

各分科会毎に指導助言の先生を迎え、問題提起者による事例発表を基に、テーマについて検討していきました。特に、午後のグループ協議では、教職員が積極的に発言し、学びを深め合う場面が見られました。

参加者の感想

- 研修のテーマを通して、色々な先生方の考えや工夫などの話から視野を広げ、柔軟な考えをもつことの大切さを感じた。
- 子どもにとって安心できる場所作りが必要であると思った。
- 子どもが「愛されている」と感じられる保育を目指していきたい。
- 一人ひとりの成長や課題を見つめ、その過程を尊重し、受け止める姿勢を大切にしていきたいと思う。
- 保育者がすべてを先回りするのではなく、子どもを信じて待つことも重要であると再確認できた。
- 教員同士の話しやすい環境作りを、意識的に行っていきたい。

埼玉県私立学校教育振興研修会

令和８年１月26日(月)、ジャーナリスト石川結貴先生を迎えて『教育現場における保護者対応と組織的リスクマネジメント(いわゆる「モンスターペアレント」事例を踏まえて)』として、数多くの事例をもとに貴重な講演をいただきました。

この研修会には埼玉県の私立学校４団体の100名超が集いました。

研修会後の私学団体新春懇談会では、埼玉県知事 大野元裕様、県議会議長 白戸幸仁様をはじめ多くの来賓のご臨席のもと、和やかな雰囲気で交流がなされました。

点ではなく線の保護者対応

1．時系列の可視化　…予兆、学校がどう動いたか時系列で示す
2．指導の意図の共有　…教師が取った「意図」を線でつなぐ
3．「成長」という未来への線　…トラブルで終わらせず成長につなげるステップに位置づける

経営研修会

政策委員会主催の研修会は、令和８年１月30日(金)に第一部「南海トラフ地震に備えて」、第二部「処遇改善について～え!?ジンカンブンって、なに??どう配るの？～」と題して開催されました。

避難所のトイレに30人並んでいると自分が使えるのは１時間半以上あと…そんな我慢をしたくないから水を控えてエコノミー症候群になってしまう。講師にお迎えした減災・防犯アドバイザー 菊池顕太郎先生から、私たちが普通に生活していると想像できない現実が災害時にはおとずれる事。そして南海トラフ地震のような大災害はいつ起きてもおかしくない事。そんな現実を改めて示し、その上で「何をどう備えるべきか」「どんな心構えが必要か」を分かりやすくお話していただきました。子どもたちを預かる私たちは、幼い命を守るためにも、しっかりと災害に備えていかなければならないと改めて考えさせられました。また、第２部では若山副会長から処遇改善費について、制度としての意味合いや実態、留意点を分かりやすく解説していただきました。

0・1・2歳児研修会

令和８年２月14日(土)、RaiBoC Hall 市民会館おおみやにて、0・1・2歳児研修会が実施されました。

今年度は、乳児保育の質を向上させることを目的として「“わかる、わかる！”がいっぱい！語り合って見えてくる乳児保育」をテーマに、グループ協議形式で実施されました。事例を元に、各グループで活発な意見交換が行われました。

協議の内容は、乳児保育の実践そのものにとどまらず、認定こども園移行に伴う運営体制の構築から、身体遊びの再設計、ICTを用いた情報の可視化まで多角的な視点に及びました。

特別な支援を必要とする児童への対応についても意見が交わされ、家庭との連携や保護者とのパートナーシップを築く重要性が改めて再認識されました。

園の垣根を越えた対話により、参加者一人ひとりが今後の保育に活かせる新たな視点を得る一助となりました。

学校法人わらび学園

幼稚園めぐり

わらび幼稚園

蕨市

住宅街を抜けると、大きな２段デコレーションケーキをイメージする建物が見えてきました。その窓からは子どもたちの元気な声が重なり合って聞こえてきます。

Q：この度は円形園舎が国の登録有形文化財として蕨市で初めて登録され、誠におめでとうございます。

A：ありがとうございます。園舎は64年目を迎え、創立77年目の年となりました。円形建築で知られる坂本鹿名夫（さかもとかなお）さんの設計です。当時は円形建築が流行していたそうです。利点は狭小な土地に建てやすく、室外の自然光がたっぷり取り入れられ、廊下が無いので、有効な教室面積が確保しやすいところにあったようです。

左から、副園長 菊地 洋太郎先生、
理事長 菊地 伸先生、園長 菊地 喜枝子先生

Q：保育室の仕切りを開けると、広いホールになり、360度見渡せるのですね。

A：ホール中央に立つと、全クラスが見渡せるのがとても良いですね。各クラスが合わさり、ひとつのステージになって遊びはじめます。おもしろいことに、子どもたちはそれぞれ、自分の担任の声を聞き分けるところです。子どもの特技なのですね。

Q：園舎と同じく、先生方も丸くやわらかい印象です。

A：半数以上の教諭が、卒園生または一度育児をして、園にかえってきてくれた先生方です。そして長く勤めてくれています。理事長として建物を維持しながら、園児の成長と先生方を一緒に見守っていきたいです。

Q：未来に向かう子どもたちへ、メッセージをいただけますか。

A：園で育んだ小さな根っこから、それぞれの色で大きな花を咲かせてほしい。園はいつもあなたたちを待っています。

幼稚園アルバム

第39回 全日本私立幼稚園連合会関東地区教員研修 埼玉大会のお知らせ

令和８年７月30日（木）・31日（金）の二日間にわたり、大宮ソニックシティにて第39回全日本私立幼稚園連合会関東地区教員研修が開催されます。

令和８年度は、８年ぶりに埼玉県が開催県を務めます。すべての先生方にとって学びの多い場となるよう、また、楽しんでご参加いただけるよう、全埼私幼一丸となって準備を進めております。全埼私幼加盟園の先生方であれば、どなたでもご参加いただけます。皆様のご参加を、心よりお待ち申し上げております。

今回は、第１日目の内容をご紹介いたします。

１．記念対談

「今の子どもたちへ伝えたいこと」

～　①少年時代　②金メダルへの道　③子どもたちへ　～

【出演】**北島 康介** 氏　（元競泳選手・オリンピック金メダリスト）
松尾　創 会長　（全埼玉私立幼稚園連合会）

オリンピック金メダリストの北島康介氏と松尾創会長のスペシャル対談！

２．特別公演

「園の先生方に捧げる落語」

【出演】**三遊亭楽生**　師匠

日本の伝統芸能である落語の魅力をたっぷりと！

３．特別演舞

「Dance! Dance! Dance!」

【出演】**山村国際高等学校ダンス部**

実力派ダンス部による圧巻のパフォーマンス！

慶弔

慶事

12・3　**文部科学大臣教育者表彰**
認定こども園大成幼稚園
（さいたま市大宮区）
勝田　寿郎 理事長・園長

弔事

11・13　幼保連携型認定こども園
菖蒲幼稚園（久喜市）
四ツ釜　はつ子 前理事長逝去

11・30　たから幼稚園（松伏町）
宮本　慶通 前理事長逝去

1・10　大宮幼稚園（さいたま市大宮区）
大橋　　裕 前理事長逝去

編集後記

令和６・７年度の広報委員会も今号の発行をもちまして、一度解散となります。日々がんばっている先生方に、同じ職をもつ仲間がいることや仕事の尊さを感じていただけるように、また、全埼私幼を少しでも身近に感じていただけるようにと願いながら作成してまいりました。今まで目を通してくださりありがとうございました。新年度からもどうぞご愛読ください。